

2013年1月20日 主日礼拝 (洗礼式)

プレイズ
奏 楽
十 戒
賛 美 聖歌476番 (It is well with my soul)
(ヤーウエ・シャローム) (主よ)

聖 書 マタイによる福音書 11章28～30節
音 楽 フェリス・フラウエンコア(フェリス女学院大学)

メッセージ「主の優しさは、スペシャルです」
大川従道牧師

賛 美 「土の器」(献金)
主の祈り
祝 禱

「わたしは心優しく、へりくだっているから、
あなたがたもわたしのくびきを負って、
私から学びなさい。そうすれば魂に安らぎが来ます。」
(マタイ十一の二十七)



畑の中の宝物

ある村の教会に、長髪の若者が来た。
牧師「長い髪の男は、この教会には入れんよ」
若者「でも、イエスも長髪ですよ」
牧師「じゃあ、君も、そのイエスという男も、この教会には入れん」・・(!?)

先週は、普段来ない方が大和カルバリーチャペルにお見えになった。鹿児島種子島カトリック教会・屋久島教会主任司祭であられる坂本陽明神父様だ。カトリックの神父様がプロテスタント教会に来て話すというのは前代未聞！水曜の神学校の授業と、水・木曜の祈禱会でお話くださった。

長野出身の謙遜で上品で博識な、素敵な神父様だった。
こんなに近くで接するのは初めてのことでかなりドキドキした。神様は新年早々と不思議な導きをカルバリーチャペルにお与えくださった。

カソリックとプロテスタントは兄弟のようなもの。カソリックとは教義において共通の部分も多いが、受け入れがたい教義も存在している。
それにもかかわらず、カソリックの神父様が敵陣の中に飛び込むかのように勇気を持ってこられたにはそれなりの背景がある。

宗教改革以来、カトリック教会はプロテスタントと対立してきた。しかし、1965年の第二バチカン公会議で、パウロ6世は平和を作るため、プロテスタントや他宗教との「対話」することを方針として打ち出し、エキュメニカル運動に参加。バチカンを出て、友好的な態度で他宗教との対話・交流に乗り出した。

坂本神父曰く、対話をするには自分から友好的な態度で近づいていき、笑顔で握手をする。「何か私にできることはありませんか」と。その時、互いの間にあった障壁が崩れるようだ。たとえあちらが敵意を抱いていたとしても、こちらは敵意を抱かずに近づいていく。すると聖霊様が働いてくださるという。教義や宗教が異なっても、人間同士交流し合えるのだと素敵な証を身をもって示してくれた。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース: 創世記46章～出エジプト12章 Bコース: マタイ14章～18章

【町田ニュース】

- ・ 昨日の「ほっとパパ&ママ会」が祝されました(参加4名)。
- ・ 午後のお茶会は分かち合い。ビジョンミーティング(5:40～)あり。
- ・ 今年も祈禱会を大切に。説教は倉知契副牧師。スキットがあります。
- ・ 木曜日、ICA(チャーチスクール)で大塚伝道師が礼拝メッセージ。お祈りください。
- ・ 準備祈禱会が金曜夜7時半。説教は久保田補教師。按手祈禱は延期。
- ・ 土曜日午後4時～6時、「リバイバル祈禱会」です。途中参加も可能。
- ・ 来週は月末なので国際飢餓対策への募金を集めます。1月の誕生会。
- ・ 「ほっとママの会」は2月7日(木)10時から。
- ・ 今年も通読表を用い貪るように聖書を読みましょう。通読者は報告を。